

高大教育連携を考える

第11回FDフォーラム

中部大学FD推進委員会が主催となって9月14日、「高大教育連携を考えよう」をテーマにFDフォーラムが大学リサーチセンター2階大会議室で開催された。

山下興亜学長のあいさつの後、本学客員教授の寺崎昌男氏が「わが国の教育システムにおける高大連携問題を考える」と題して講演を行った。その中で寺崎氏は「高大連携というと、つなぎ目の部分のみがクローズアップされてしまうが、大切なのは全体を見て教育していくこと。一貫教育ではなく、一貫“連携”教育が必要だ」と指摘した。

続いて、「愛知県における公立高校の努力と実践」と題して野々部幸藏春日丘高等学校長が愛知県内の高校現場の状況を独自の調査や自らの経験を交えながら語った。

休憩を挟んで、梅津敬春日丘高等学校教頭が「春日丘高等学校が目指すもの—教育課程の編成と実施—」と題して実情報告を行い、春日丘高校が時代の変



化に柔軟に適応しながら幅広い層の生徒に対応するために試行錯誤を繰り返した経緯を説明した。

最後に竹中俊美教授(理学教室)が「中部大学における入学直後の数学・物理教育の現状」と題し、現状の問題点などを投げかけた。